

平成29年度 4月号



新座二中だより

新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

二中の伝統と誇りをさらに発展させる一年にします

校長 田村 和昭

新たに1年生を迎え入れ、3年生、2年生は進級し、いよいよ平成29年度が始まりました。4月、心わくわくするスタートの季節です。

在校生の力強い意志と脈々と続く良き伝統を感じました。

「我々の信念は、常に燃え続ける灯火でなければならない。それは我らに光明を与えるだけでなく、周囲も照らすのだ」

インド独立運動の指導者マハトマ・ガンディーの言葉です。ガンディーは、「非暴力・不服従」によりインドの独立を目指したたびたび投獄もされました。しかし、不屈の精神で信念を貫いたのです。暴力で民衆の動きを止めさせようとする兵士に対して反撃を行わず、逃げもしないという行為は、非常な勇気が求められるばかりでなく真の強さと忍耐が必要です。

「明訓 向上 自主・自立」

校訓 まごころ
学校像 真理を胸に刻む学校
ともに夢を語る学校

上記に掲げたものは、本校の学校教育目標です。教職員一丸となり生徒の充実した中学校生活を実現してまいります。本年度も地域、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

一燈照隅

さて話は卒業式に遡りますが、3年生は別れの言葉を「2年生のみなさん、今度はみなさんが二中の最上級生になります。この二中をよりよい学校にしていくとともに、すべてにおいて二中でよかったと思える中学校生活を送ってください」と残しました。

一方贈る言葉を、在校生は次のように締めくくりました。「皆さんに追いつきたいとがんばってきた私たちですが、皆さんが巣立ってしまわれることに、今とても不安を感じています。『一人一人の燈りをともし、隅々まで照らし出せる人になる』という意味の第三学年の目標である『一燈照隅』。皆さんが、この言葉を心に刻み誇りをもって築き上げてきたこの第二中学校を、さらに良い学校にしていくために、これからは私たちが引き継いでいきます」



やがてガンディーはインドを独立させただけでなく、政治思想として植民地解放や人権尊重運動、人種差別根絶の領域において平和主義的手法として世界中に大きな影響を与えました。

一人一人の意志は、一燈・灯火に例えられます。そしてその一燈・灯火がさらに集まり大きな変化を生む力となります。「一燈照隅」を心に刻み、二中の伝統と誇りをさらに発展させていきましょう。